砥部町タウンミーティング（座談会型）議事録

砥部町長と天神区の皆様で、今後のまちづくりについて直接意見を交わす「座談会」を開催しました。

開催日時	令和 8 年 10 月3日(土)18:30～19:30
開催場所	天神区集会所
参加者	町側：町長、地域振興課長補佐、地域振興課職員 区側：区民 31 人
主なテーマ	・インフラ老朽化対策 ・砥部町の財政状況の現況と展望 ・地域交通及びコミュニティ活性化支援 ・その他地域住民からの要望に関する質疑応答

■ 主なご意見と回答

【五本松のカーブの道路拡幅工事と通学路の安全確保について】

Q.	五本松のカーブの道路拡幅工事に伴い、ガードレール設置位置によっては歩行児童が危険に晒される懸念がある。施工の一局集中および早期全面舗装の完了を要望する。
A.	契約変更や人手不足、物価の高騰等などの影響により、工事に約半年の遅延が生じている。9 月補正予算で舗装復旧の工事費を追加しており、令和 9 年 3 月末の完成を見込んでいる。

【陶街道ゆとり公園の樹木及び桜の管理・保全について】

Q.	ゆとり公園内の落葉樹や桜において枝の損傷が見受けられる。町の大切な財産と思料するため、適切な確認および保全管理を求める。
A.	敷地外樹木や公園樹木の管理は全国的な課題であり、危険箇所の伐採等を優先して対応している。ゆとり公園の桜・樹木についても専門家による現地確認・調査を実施する。また、指定管理者と協力して枯れ木の伐採や剪定を随時行い、環境美化に努める。

【高校生の通学環境及び地域交通手段の改善について】

Q.	松山方面へ通学する高校生の自転車移動の負担が大きい。砥部町に住むうえでの課題であるため、なんとかしてほしい。また、のりあいタクシーなどの地域交通手段の調整・検討状況について教示されたい。
A.	現在、バス通学定期代および自転車購入費の補助を実施中である。また、のりあいタクシーについて、10 月から区域をこえて砥部町役場までの運行が可能となった。他市町では住民主体・地域企業スポンサー型の移動サービスが導入されており、小学校区単位の地域が主体となり、運用することは可能だと感じている。

【国道 33 号線沿いにおける道の駅・直売拠点の設置について】

Q.	松山・高知間の交通量を取り込み地域経済の活性化を図るため、国道 33 号線沿いへの道の駅や直売施設の整備を提案する。
A.	国の道の駅指定要件は厳格であるが、集客および直売機能の整備は極めて重要と認識している。開発調整区域の有効活用や大南グラウンド周辺土地（約 1.5 万㎡）の整備等を含め、民間事業者が参入しやすい環境構築を推進する。

【団地内の交差点の安全対策について】

Q.	三角地の樹木撤去に伴い見通しが改善した一方、車両速度の上昇が懸念されるため路面への「止まれ」表示を要望する。
A.	路面表示（「止まれ」）の描画については警察との協議が必要である。危険表示看板の設置等を含め速やかに要望・調整を行う。道路標識の設置や道路表示など規制や取締りについては、所管が松山南警察署になっている。今回ご提案いただいた案件はお伝えし、調査等対応を依頼するため、しばらくお待ちいただきたい。

【アルミ缶回収助成金の見直しについて】

Q.	自治会によるアルミ缶回収助成金の助成率の引き上げを求める。
A.	資源市場価格等を踏まえて設定された現在の基準に鑑みると、助成率引き上げのための根拠を示すことは困難な状況である。また、本事業に参加している各団体に対する過去のヒアリングでは、「仮に減額や交付事業が廃止されたとしても、団体の事業活動は継続する」との意見をいただいている。ついては、本年度の交付金単価は現状維持とし、助成率を含む本事業の在り方については慎重に検討を行う。

■ 今後の対応・検討事項

- 浄化槽設備の全容調査と計画的改修
- 小学校プールの老朽化調査と今後のあり方の検討
- ゆとり公園内の樹木・桜の専門家調査
- 住民主体型・地域公共交通サービスの導入の検討
- 調整区域の活用及び大南グラウンド周辺の整備の検討
- 三角地交差点の安全対策
- 自治会によるアルミ缶回収助成金の助成率の見直しの検討